

指定年月日・番号	昭和58年5月23日	第58-2号
告示年月日・番号	昭和59年4月10日	第39号

### 承 諾 書

この図面記載のとおり道路の位置の指定・変更・禁止を承諾します。

昭和 年 月 日

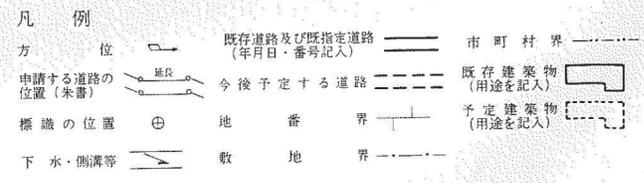
(申請者) 殿

道路の幅員	4.9 M	道路の延長	20.55 M	道路の面積	107.48 m <sup>2</sup>
工事着手予定期日	昭和58年 月 日	工事完了予定期日	昭和58年 月 日		
道路管理者住所氏名		電話 番			

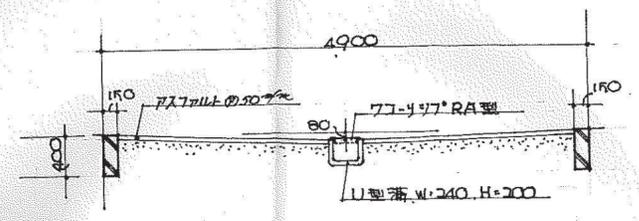
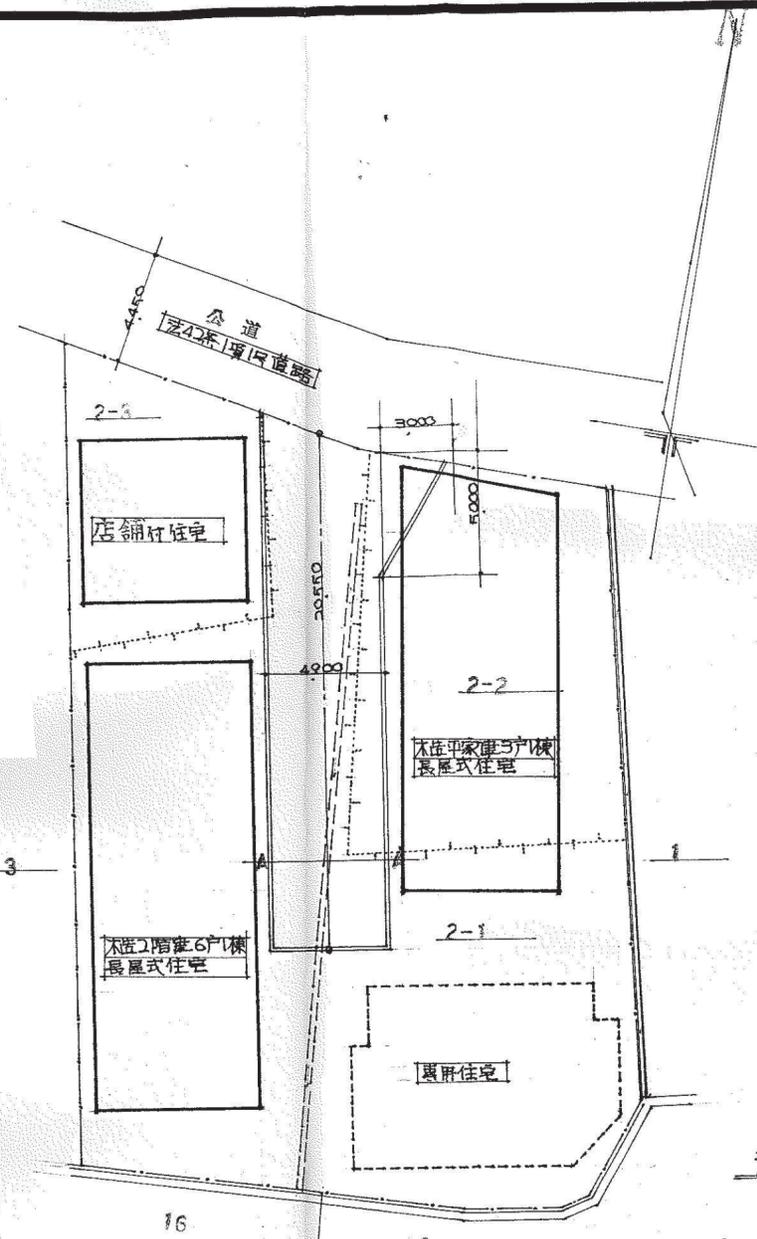
道路となる土地の地名地番	地目	権利の種類	住 所	氏 名	印
伊丹市瑞穂区瑞穂地2番2-1	宅地	所有権			
同前2番2-2	畑	所有権			
同前2番2-3	宅地	所有権			
伊丹市瑞穂区瑞穂地2番2-1	宅地	所有権			
同前2番2-3	宅地	所有権			

備 考 (上記承諾に関する特記事項を記入してください。)

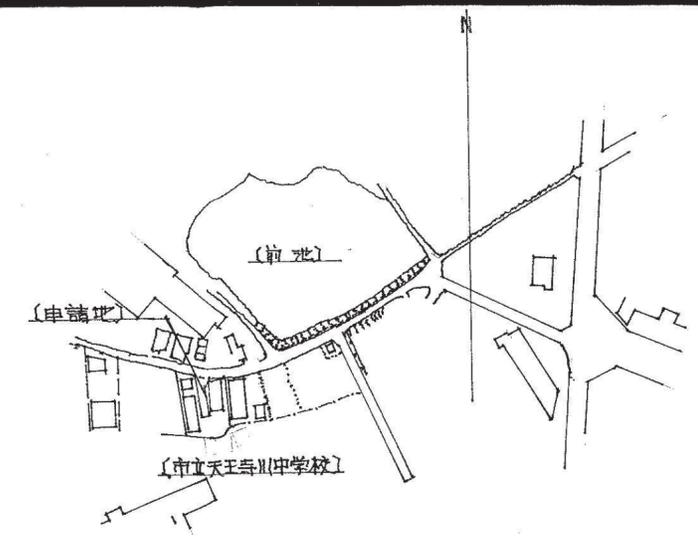
図面作成者住所氏名



- 〔注 意〕
- 承諾書の「権利の種類」欄は、土地又はその土地内の建築物若しくは工作物について該当する権利(所有権借地権等)をそれぞれ記入すること。
  - 図面にも地番号、権利の種類及び氏名を記入すること。
  - 附近見取図・道路図及び標準断面図を記載し、方位は一致させること。
  - 延長は、幅員別に記入すること。
  - 本用紙のみで記入できない場合は、同質、同形の用紙を使用し、該当する部分において権利を有する者及び図面作成者の印で本用紙と割印して追加すること。
  - 申請書(正・副)には本用紙(追加紙を含む)のコピーを添付し、本用紙は別に(同時に)提出すること。



A-A 断面図 S 50.1



附近見取図

誓約書

今般が筆所有の伊丹市瑞穂区瑞穂地、地番2-1、2-2、2-3番地、表記の面通り申請いたしております。建築基準法第42条1項五号の道路築造の際に、既に建築物に附属の障害物等により現時点で築造不可能な部分は、後日建築物取壊又は現況形態変更等の節には必ず表記の面通り築造する事を誓約いたします。

道路位置図 S 200.1

